

疑惑徹底追及、逃げ切り許さない

首相擁護する改憲勢力
憲法かかった大事なたたかい

「桜」・ジャパンライフ問題

日本共産党奈良県委員会が14日、近鉄大和西大寺駅北口で行った街頭国会報告会で大門実紀史参院議員が行った「桜を見る会」、ジャパンライフ問題の報告を紹介します。

●総理の犯罪、悪徳商法に手を貸す

臨時国会では「桜を見る会」、ジャパンライフの問題が連日報道されました。これは何か問題かという、一つは総理の法律違反、総理の犯罪の疑い。もう一つは、総理がお年寄りを中心に7000人も被害を出した悪徳マルチ商法に手を貸したのではないかと、いう疑いです。これはほかのこととは違います。首相は予算や法律を提案する中心の人です。この疑惑をないがしろにする訳にはいきません。だから野党は会期を延長してこの問題を説明せよと要求したんです。しかし安倍さんは逃げるように国会を閉じてしまった。お正月にお餅を食べれば忘れてくれると思っている、国民をバカにしていますが、忘れられる話ではない。徹底して追及していかなければならないと思います。

●審議を打ち切ったのが与党

一部のマスコミは「野党は『桜を見る会』ばかりやっている、まともな政策論戦をやっていない」と言っていますが、とんでもない大間違いです。日米貿易協定、教員の皆さんの変形労働制、日本共産党、野党の皆さんは力を合わせて徹底して論戦をしてきました。マスコミが取り上げていないだけです。与党のほうが審議を打ち切って悪法を強行した。この点も是非知っておいてもらいたいと思います。

<この後、大門さんは「桜を見る会」問題の野党共同ピラを示しながら説明しました>

●2つの疑惑に何の説明もせず逃げ回る

□「税金でおもてなし」

表面の左下に「税金でおもてなし」と書いてあります。「桜を見る会」は総理主催の税金を使った公的行事です。功績のあった人を招いて桜を見て喜ぶ会ですが、公的行事に安倍首相の後援会員、支持者を大量に招いて、ただで飲み食いさせていた。国会議員が後援会員・支持者に飲み食いさせると公職選挙法違反、買収・供応になります。安倍首相はそれよりもっとひどい。自分の金は使わず税金を使った。それが第一の疑いです。

□『前夜祭』会費5000円？

ピラの右の方には「『前夜祭』会費5000円？」と書いてあります。首相の地元・山口県からたくさん上京した自分の後援会員が、

大門実紀史参院議員の報告

「桜を見る会」の前日、東京のホテルに泊まった。その方々をニューオータニという高級ホテルに招いて会費5000円で飲み食いさせた。このホテルは立食でも1万1000円が最低ラインです。

では差額を誰が負担したかが問題になります。安倍さんの事務所が負担していたら明確に公職

選挙法違反、買収・供応・寄付行為に当たります。安倍首相はこの二つに何の説明もせず逃げ回っています。



●虚偽答弁

裏の面です。安倍さんは国会で虚偽の答弁を重ねています。最初自分は来た人を接待しただけだとわが党の田村智子参議院議員に答えました。ところがその後、11月20日の参議院本会議で実は推薦者について意見を言うこともあったと答えた。つまり誰を招くかについて自分が関与していたことを認めた訳です。

●なんでもシュレッダー 反社会的勢力が参加

では誰が参加していたのか。「名簿を出しなさい」と野党が要求した。最初に要求したのは日本共産党の宮本徹衆議院議員でした。しかし何と内閣府に要求した翌日に名簿は破棄されたと分かったんです。安倍さんに都合の悪いことは何でもシュレッダーにかけてしまう。いま国会では安倍さんに「シュレッダー・安倍」というリング・ネームがついているそうです。

都合の悪いことは何でもシュレッダーにかけて廃棄してしまう。これは公文書管理法違反に問われる可能性があります。重要文書は最低1年以上保管しておかなければならないのです。この名簿をなぜ隠したいのか。すでに報道され、写真も出回っている通り、反社会的勢力、つまり暴力団、後で申し上げますが悪徳マルチ商法をするような悪徳業者が招かれていた。名簿を出せと言ったら、個人情報にかかわるから出せない、名簿は破棄したとって逃げている訳です。

●ジャパンライフ 悪徳商法に手を貸した

次はジャパンライフの問題です。この問題は、お年寄りをだましてお金を巻き上げる。被害額は2000億円、被害者7000人。ほとんどお年寄りですが、老後の資金を巻き上げられるという大事件です。豊田商事事件というのがあります。金の延べ棒を使った悪徳商

近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中】

No. 34(2019.12.17)

法です。これに匹敵する巨額の事件です。

私は「桜を見る会」の問題が起こる前からジャパンライフの問題を消費者問題として取り組んできました。このチラシ（安倍首相から届いた「桜を見る会」の招待状などを使ったもの）は3年前に入手しておりました。これが「桜を見る会」と結びついたのは受付票の下にある「60-2357」という番号です。これが何なのかを田村智子議員が突き止めた。この番号は実は総理の招待枠だったことがハッキリした。

私は最初にこのチラシを見て、ジャパンライフの山口会長が安倍さんの招待状をどこから手に入れて、勝手に使っているのかと思っていましたが、そうではなく安倍さんが山口会長に自ら招待状を渡していた。これは話が違う。利用されたのではなく、安倍さんが手を貸したとなる訳です。これで一気にジャパンライフ問題が浮上してきたのです。

●山口会長と会っていた？

国会で安倍首相は山口氏と会っていないと言っていますが、テレビ東京がスクープし、1984年、安倍首相のお父さん・安倍晋太郎さんがニューヨークに行ったとき山口会長が同行し、国会でも答弁されていることが分かった。フィルムも掘り起こされた。このときお父さんの秘書官としてついていったのが安倍晋三さんです。山口氏と会っていないはずがありません。

●ジャパンライフの周りに沢山の政治家

ジャパンライフというのは、1975年に国会に呼び出されるほど問題のあった会社です。85年には国会でジャパンライフの集中審議も行われました。山口氏は国会でもよく知られた人物です。ジャパンライフは、国民生活センターにいろんな相談が寄せられたので、2014年5～6月、消費者庁はほっておけないということで立ち入り検査に入ろうとし、処分するしかないという決断をした。ところが7月に急きょ方向転換し、立ち入り検査をせず召喚つまり呼び出して注意をするだけにとどめようとなりました。

なぜ方向転換されたのかを暴露したのが、私が国会に提出した文書です。これは「要回収」となっています。何が書いてあるかというと、「政治的背景による余波懸念」とある。つまり、ジャパンライフに立ち入り検査とか、呼び出すだけでも「外圧的に真意を問われる」—政治家からなんでジャパンライフに検査に入ったかと言われるような案件であるということです。ジャパンライフがいかに政治家と結びつきが強かったかを示す重要な文書です。

私が調べただけでも加藤勝信厚労大臣、下村博文元文科大臣などいろんな方の名前が既にこの時に出てきています。ジャパンライフの周りには沢山の政治家がいた。だから検査に入るのを躊躇して呼び出すだけで治めたということになる訳です。その時にちゃんと検査をして処分しておればその後の被害の拡大は防げた。その後、お年寄りが大量にだまし取られるのですが、政治家の圧力を気にしてあるいは圧力があって検査に入りませんでした。

●お年寄りだまし「最後の荒稼ぎ」に利用

ジャパンライフは2015年に入って最後の荒稼ぎに入りました。つまり、消費者庁から目を付けられ始めた、いずれ検査に入られるだろう、それならば最後の荒稼ぎをしてお金をどこかに移して計



画的に破たんさせようという方向に入った訳です。その時、よりによって「桜を見る会」の招待状を安倍さんが出した。この間、被害者のヒアリングをしておりますが、招待状を出された以降の方々はみんなこのチラシを見て、安倍さんに呼ばれる人ならば間違いないだろうということで信用し、お金をだまし取られた。これが被害拡大に手を貸したのです。

その後、消費者庁は検査には入りましたが、普通半年くらいで処分するのに、処分に1年3カ月かかった。その間にずーっとこのピラにだまされて被害が広がりました。総理の法律違反問題もありますが、世論が一番怒っているのがお年寄りをだますのに手を貸したことです。

●なぜ安倍首相は辞めないか—憲法がかかった、たたかい

しかし、それでもなぜ安倍さんは辞めないのか。私は国会に来て19年になります。いろんな総理がいましたが、ここまでのことなくやめた総理大臣は沢山います。安倍さんが辞めないのは、憲法の問題があるからです。安倍さんが先日の記者会見で言いました—「私の手で憲法を変える」「私を変えるしかないんだ」。そうわざわざ言いました。改憲勢力「日本会議」を含め憲法を変えたいと思っている大きな勢力があります。そういう人たちは、改憲に執念を燃やしている安倍さんが辞めたら憲法を変えるチャンスが遠のくと考えています。彼らも憲法がかかっている、ということで安倍さん擁護に必死になっているのです。

権力のすべてを動員し、マスコミにも圧力をかけて安倍さんを守ろうとする—これはひとえに安倍さんが総理をやっているこのチャンスを逃したら何十年も改憲はできなくなるかもしれない、その危機感から安倍首相を守ろうとしているのです。

皆さん、これは憲法がかかった、たたかいです。総理の責任を問うと同時に、憲法がかかった大事なたたかいです。世論をどうか広げていただいて、今度こそ安倍政治を終わらせようではありませんか。